

# ひょうごらくのうメモ



平成31年2月号

(平成31年2月15日発行)

ホームページ開設中



表紙挿絵：らくのうひょうごフェスティバル絵画コンクール入賞作品  
徳島県板野郡 井上あいりさん（5才） 題名「うしさん、ひっばるよ☆」

## 今月の主な内容

1	● 生乳生産量統計
2	● 行事、活動レポート・主な行事予定
3	● 技術情報 『あなたの今年の暑熱対策は？いつやるか？それは今でしょう』
4	● 淡路家畜市場情報《31年1月》
5	● 隣県家畜市場情報
6	● 北海道産牛価格情勢《31年度1月》
7	● 北海道乳牛産地情報《31年2月1日現》
8	● 情報提供《輸入粗飼料の情勢ほか》



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

～ 確定申告は3月15日（金）まで 早めに済ませましょう！ ～

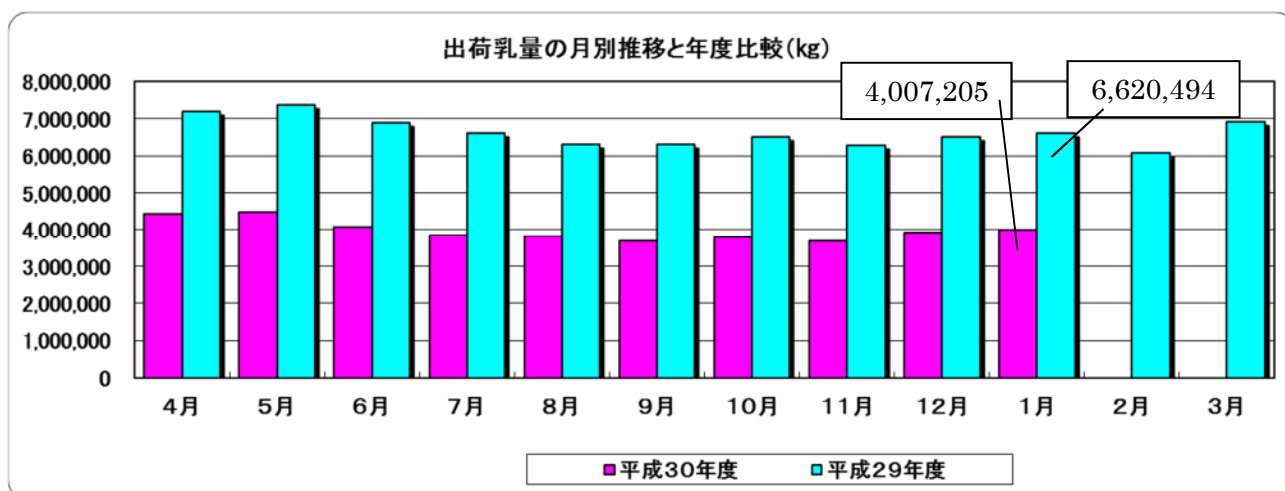
## 生乳生産量統計

### 1. 全国（平成30年12月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成30年 4月	623.8	101.2
平成30年 5月	647.9	100.5
平成30年 6月	620.9	101.1
平成30年 7月	616.5	101.0
平成30年 8月	606.8	101.0
平成30年 9月	560.6	96.5
平成30年10月	596.5	99.3
平成30年11月	580.1	99.6
平成30年12月	609.8	99.8
平成31年 1月		
平成31年 2月		
平成31年 3月		
平成30年度累計	5,462.9	100.0

### 2. 兵庫県酪農協取扱い分（公共施設を除く）

地 区	平成31年1月		年度累計（4～1月）		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 （kg）	対前年比 （%）	生乳生産量 （kg）	対前年比 （%）	
阪神地区	636,949	43.9	6,466,321	44.5	26
播州地区	1,115,129	45.0	11,064,164	44.0	41
丹但地区	383,913	58.8	3,877,494	58.3	18
淡路地区	1,871,214	91.8	18,306,094	90.6	116
合 計	4,007,205	60.5	39,714,073	59.7	201



# 理事会報告

平成31年1月31日、西神文化センター202会議室において理事6名、監事1名の出席により、第7回理事会を開催した。

永田組合長より挨拶の後、平成30年度生乳計画生産進捗状況、平成30年度10月、11月次決算状況、地区別懇談会における質問・要望等まとめを報告し、次の事項を協議・決定した。

## ① 平成30年度酪農研究会開催要領（案）について

開催要領案を承認。3月5日西神文化センター大ホールにて開催。表彰行事と、講演として大阪国税局による消費軽減税率制度他で調整

## ②その他

事前検討として

- 1) 32年度役員改選に向けた定款変更について
- 2) 増産対策協議会（仮）の設立について

- 3) デイリーフォーラムの開催について  
3項目について検討を行った。

## 丹但地区新年交流会を開催しました！

(1月17日)



豊岡・但馬の4組合員については残念ながら予定が合わず不参加となりましたが、組合長、丹波・篠山の組合員と事務局の総勢15名が参加しました。同じ悩みや喜びを抱えるもの同士の交流によって刺激をもらい楽しく有意義な地域交流会（新年会）となりました。

### ○主な行事予定

#### (2月)

15日 兵庫県民農林漁業祭実行委員会総会

畜産技術ひょうご編集会議

19日 全国酪農協会事業推進委員会

20日 淡路地域畜産技術成果・事例発表報告会

21日 全国酪農協会役員報酬等審議委員会

22日 内部管理職会議

26日 全国ホルスタイン改良協議会通常総会

27日 臨時理事会

27日 共済連損害評価会・畜産部会

飼料増産近畿地域ブロック会議

28日 岡山種雄牛センター窓口団体担当者会議

#### (3月)

1日 内部職員会議

2日 第37回兵庫県ブラック&ホワイトシヨウ

4日 近畿生乳販連理事会

認証食品審査の有識者会議

全国牛群検定推進会議

5日 平成30年度酪農研究会

6日 日本酪農政治連盟通常総会

J A総務担当部課長会議

8日 兵庫県学校給食用牛乳供給事業協議会

## 大学版『もう～もう～スクール』を開催しました！

1月24日（木）、兵庫県立大学姫路キャンパス環境人間学部・環境人間学研究科に於いて、大学版もう～もう～スクールを開催いたしました。

今回、開催致しましたもう～もう～スクールは、ひょうごらくのうメモ平成30年11月号に掲載しました、小学生向けのもう～もう～スクールと両輪で実施を行っております。

小学生に対しましては、ふれあいを通じて食育・命の大切さなど学んでもらい、延いては牛乳に対しての親近感を持ってもらう事を主眼に置いて取り組んでおります。また、大学では学科全員が管理栄養士を目指して学んでおられる方々で、将来色々な場面で牛乳の有用性を発信して頂ける方に対して、牛乳の成分的な価値だけでなく酪農の現状、酪農家が担っている役割等酪農全体に理解を深めてもらい、単に牛乳という物品に留まらず大きな枠組みで知ってもらう事を目的としております。



講義の内容としましては、板井生産指導部長による「兵庫県の酪農について」の説明、三木市の組合員で酪農教育ファームファシリテーター西山農さんによる

「酪農の話」、(一社)日本乳業協会の入口由実さんによる「牛乳の話」と「牛乳の飲み比べ」を行いました。特に飲み比べに対しては同じ牛乳でも殺菌処理方法等で味や香りが違う事に気づいてもらい、今問題になっている風味変化についても牛乳は乳牛という動物から生



産される物で季節や体調、飼養方法によって千差万別である事も理解していただきました。

開催にあたり、受け入れを快諾頂いた兵庫県立大学、運営面でご協力頂いた兵庫県農政環境部畜産課酪農養鶏班並びに近畿生乳販売農業協同組合連合会など、関係機関の方々には深くお礼申し上げます。



製法の違う3種の牛乳を飲み比べ。季節や処理方法の違いで牛乳の風味は変化することを学んでもらいました。

# 平成30年度後期体型調査・ 牛群審査の結果について

1月15日～18日の日程で、審査員(社)日本ホルスタイン登録協会 大西 信雄 氏を迎え、平成30年度後期体型調査と牛群審査が行われました。

今回は、牛群審査8戸80頭、奨励審査3戸14頭、体型調査11戸58頭を実施し、牛群審査では、以下のとおり3名の牧場において見事EX90以上を獲得されました。

## 高得点 (EX) 獲得牛

名 号	審査年齢 産次	得 点 等	所 有 者
フェアヘアン LMN プリマ ヴィスタ	8-08 6産	90 (92 93 91 91) 3E	富永 忠良
フェアヘアン MF プレミアム シルク	6-11 5産	90 (91 88 91 89) 2E	富永 忠良
グットリバー トリプル A コナツ	5-05 4産	90 (90 87 90 92)	吉川 稔英
ゴールデンバレー ファイバー ヘイブン ハーゲン	6-11 4産	90 (91 89 90 89)	吉川 稔英
アリスト シーバー タブ	6-02 4産	90 (89 89 90 90)	山田 光雄
アリスト レディースマー スーパーステーション マナー ET	6-03 5産	90 (89 90 89 90)	山田 光雄
1 アリスト ガボアー アスペン フタゴ	7-05 6産	90 (89 90 92 89)	山田 光雄

※ 体型審査では90点以上(エクセレント、EX)に評価された雌牛が分娩更新して、再び90点以上を獲得した時は、審査得点に加えて2回目は「2E」、3回目は「3E」と表記されるようになっており、体型を維持している牛及び体型を維持させる飼養管理技術の高さが分かる評価となっています。

後代検定体型調査において、調査結果はこれからの後継牛の選抜・淘汰に欠くことのできない種雄牛評価値の貴重なデータとして活用されることとなりますので、今後とも「牛群検定」への加入、後代検定精液の利用ならびに、体型調査へのご協力をお願いいたします。

今回、体型調査にご協力をいただきました生産者の皆様に感謝申し上げます。

兵庫県酪農農業協同組合 指導購買課

# あなたの今年の暑熱対策は？～いつやるか？それはいまでしょう！～

平成 30 年の夏は猛暑、いや“酷暑”の夏でした。ほとんどの酪農家が、乳量の低下、種が付かないなど大きなダメージを受けたと思います。

季節は巡り、夏は必ずやってきます。今年の夏もきっと、おそらく、間違いなく暑くなると思います。暑さに弱いホルスタイン種を飼っている私たちにとって、暑熱対策は避けては通れない永遠の課題です。

暑熱対策としてやるべきポイントをまとめると図 1 のようになります。今回は、その中の①「外からの熱の侵入を防ぐ」と、特に②「牛の熱放散を助ける」についてお話しします。

## ①外からの熱の進入を防ぐ

・屋根や壁の輻射熱を防ぎ舎内温度を**上げない**

## ②牛の熱放散を助ける

・送風と換気で熱放散を**助ける**

## ③牛を冷やす

・細霧ミスト噴霧等で舎内温度を**下げる**

・牛体に散水して体温を**下げる**

## ④牛に補給する

・水、水、水…「**水**」



図 1 暑熱対策のポイント

### 1. 外からの熱の侵入を防ぐ（輻射熱対策）

輻射熱とは、熱を持った屋根や壁が畜舎内に熱を放射することを言います。対策としては、散水、ドロマイト石灰乳塗布、遮熱塗料、遮熱資材などがあります。写真 1 は屋根と壁をドロマイト石灰乳で真っ白に塗った事例です。このように輻射熱対策をすると、日中だけでなく夜間も牛舎内温度を下げることができます（図 2）。せっかく送風ファンを回しても、高温になった屋根や壁の近くでは“温風ドライヤー”になってしまいます。まずは余計な熱を牛舎に入れないことが重要です。



写真 1 ドロマイト石灰乳で屋根・壁を真っ白に塗布した事例（兵庫県）

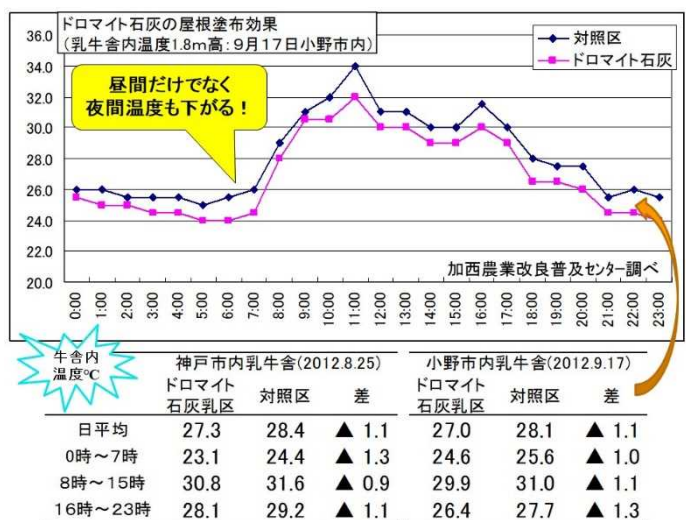


図 2 輻射熱対策の効果

## 2. 牛の熱放散を助ける（送風・換気対策）

暑熱対策の基本は送風です。牛に当たる風として、風速 2m/秒以上、できれば 3m/秒の風を確保したいものです。牛が感じる体感温度は、風速によって大きく低下（ $-6 \times \sqrt{\text{風速 (m/秒)}}$ ）します。例えば 2m/秒なら、約 8℃も下がることとなります。

### 1) リレー送風方式

つなぎ牛舎では、写真 2 のように牛床に沿って、斜め下向き一方向に送風ファンを設置します。牛の熱や牛舎の湿気を牛舎の外へ排出すること、つまり換気の視点で考えれば、ファンの向きは一定の方向性が必要です。

さらに、一般的な 1m 径の送風ファンが、風速 2m/秒を確保できる範囲は、せいぜい 4~5 m 程度です。これは牛床でいうと 3 頭分になります。つまり、送風ファンは 3 頭に 1 台以上が必要となります（図 3）。



写真 2 送風ファンは斜め下向き一方向に設置する！（兵庫県）

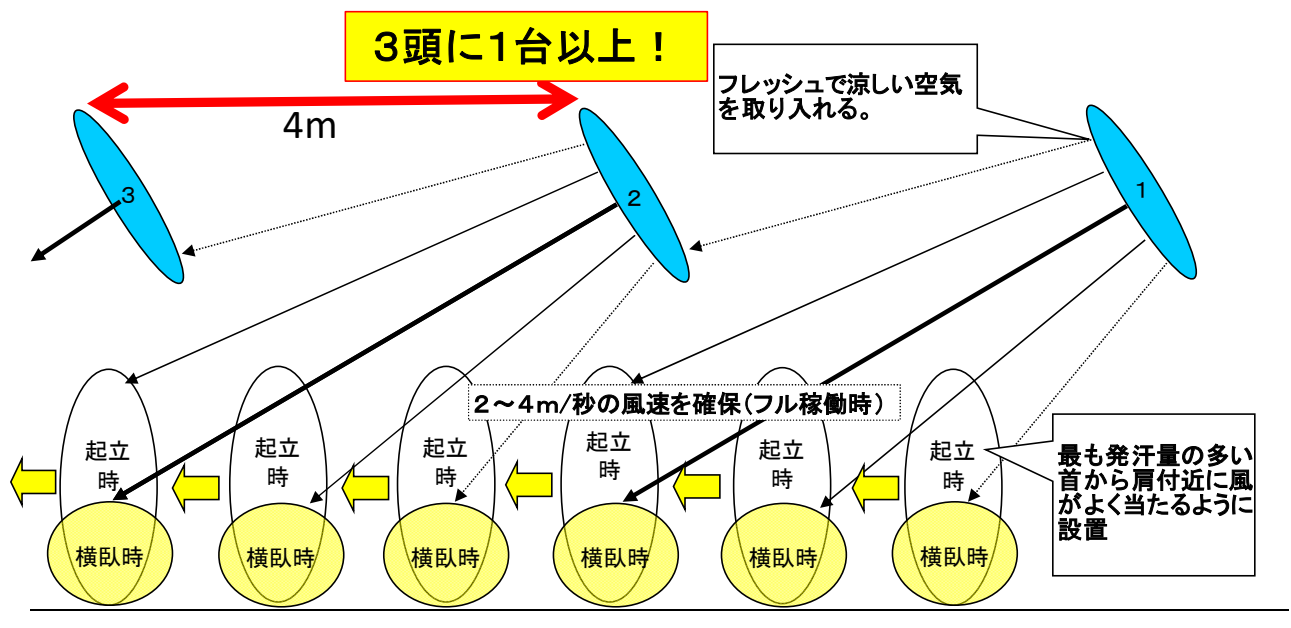


図 3 送風ファンの設置イメージ（3頭に1台は必要！）

送風ファンの増設をする前にすべきことがあります。それは送風ファンの掃除です。ファンは使用すればするほど羽根に埃が付着します。そのことにより、風速のロス、電気代の無駄が生じています。羽根の掃除をすれば風速が 25% 向上したという報告もあります（図 4）。送風ファンの掃除に加え、ベルト等のチェックなども忘れずに実施してください。それをするタイミングは春を迎える今です。是非、やってください。

## 送風ファンの機能を回復させる(羽根の掃除！)



\*このファンは比較的  
付着物少ない??

ファンの羽の掃除!  
風速が25%アップ  
(H18鳥取県調査資料より)

\*送風ファンを設置するときには、取り付け方法や電気配線等、  
角度調整(交換)や掃除がし易いように工夫して下さい!

図4 送風ファンの羽根の掃除で  
風力が回復する!(電気代も  
削減できる)

## 2) トンネル”送風”方式

ここでは「トンネル換気」と言わず、「トンネル送風」とあえて呼びます。牛舎側面を密閉し、片側に換気用ファンを並べて設置し、反対側から空気を入れ、牛舎をトンネル状にして空気の流れを作ります。「トンネル送風」と呼ぶ理由は、換気はもちろんですが、それに加え、少なくとも2m/秒以上の風速を確保するためです。

そのための計算(縦断型)は図5のようになります。例えば牛舎の幅が10m、天井高が2.5mの場合、一般的な1m径の換気用ファンを14台設置すれば理論上3m/秒の風速を確保することができます。

### • 必要換気ファンの数を決める

断面積(高さ×幅)(m<sup>2</sup>)×設定風速(m/s)=総換気量(m<sup>3</sup>)

換気ファン必要台数=総換気量(m<sup>3</sup>)÷換気ファン能力(m<sup>3</sup>/s)

\*換気ファン能力はm<sup>3</sup>/分で示されることが多いのでm<sup>3</sup>/sに換算する

#### 牛舎横幅が10m、天井高が2.5mの場合

牛舎の断面積は10m×2.5m=25m<sup>2</sup>

3m/秒の風速を出すためには、

25m<sup>2</sup>×3m/秒=75m<sup>3</sup>/秒の換気が必要

345m<sup>3</sup>/分の換気能力がある換気ファン(=5.75m<sup>3</sup>/秒)

75m<sup>3</sup>÷5.75m<sup>3</sup>/秒=13.04台→**14台**

設定風速を4m/秒とするならば18台が必要となる

牛舎が長いほど  
余裕が必要です!

図5 トンネル“送風”システムに必要な換気ファン台数の計算例

もし前出のリレー送風方式で、3頭に1台の設置を行った場合、仮に42頭牛舎なら14台が必要となるため、設置費用やランニングコストは大きく変わりません。

また、トンネル送風システムで十分な風速を確保するためには、換気用ファンの台数だけでなく、牛舎の密閉度が重要となってきます。計算上の風速が出ない場合は、天井や側壁で

の意図せぬ空気流入があります。わずかな空気流入が積み重なり、風速は落ちていきます。さらに、どこから入気するか、その入気場所・面積は適当かの確認が必要です。

空気の質は入気側から排気側に行くほど悪くなります。その場合は、風速が落ちることを計算に入れた上で、フレッシュな空気を途中で入れることも選択肢の一つです。その場合は、実測しながら開口部分を調整していく必要があります（図6）。

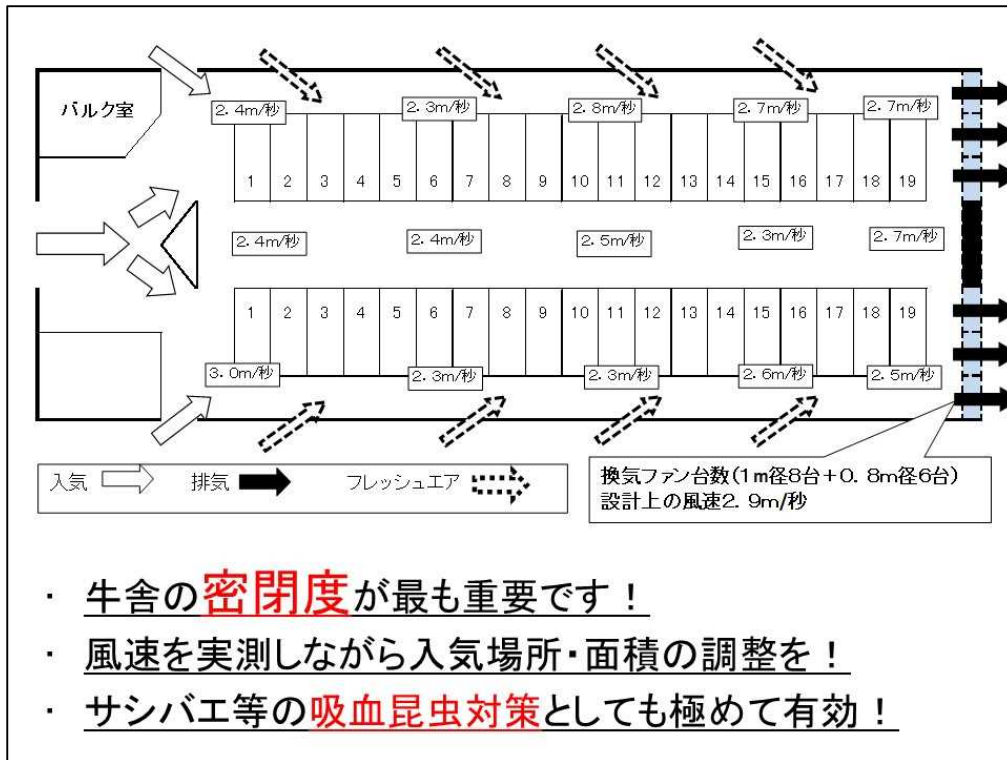


図6 トンネル“送風”システムのレイアウト事例（兵庫県）

トンネル送風方式では、換気ファンで空気を動かすため、風の流れは障害物のない部分に偏りがちになります。例えば牛と天井の間、中央通路や前通路などです。狙いは牛に風を当てることなので、作業の邪魔にならないように整流板（バッフル）を設置して、風の流れを牛に向ける工夫も必要です（写真3）。

トンネル送風システムの良さを知るには、何より体感することです。牛舎内で深呼吸すると換気の大切さが実感できます。

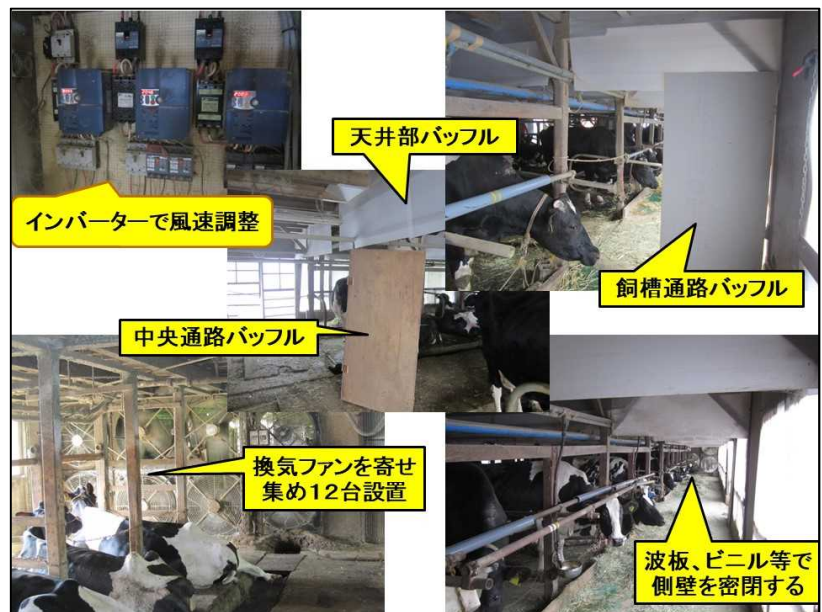


写真3 トンネル“送風”システムへの改造事例（兵庫県）

### 3) ハイブリッド型トンネル送風方式

最近のトンネル送風システムでは、“ハイブリッド型”と呼ばれる方式が採用される事例が増えています。ハイブリッド型とは、車がガソリンエンジンと電気モーターを併用すると同じように、換気ファンと送風ファンを併用し、牛舎全体の換気と牛への送風を両立させる仕組みです。特に牛舎サイズが大きいフリーストールやフリーバーン牛舎で採用される事例が増えています（図7）。あくまで換気ファンによる風速確保（換気効率確保）が前提ですが、牛舎サイズが大きく、牛の居住ゾーンの風速が弱い場合などは効果的なシステムです。つなぎ牛舎でも、天井がなく空間が広い牛舎等で応用が可能だと思われます。

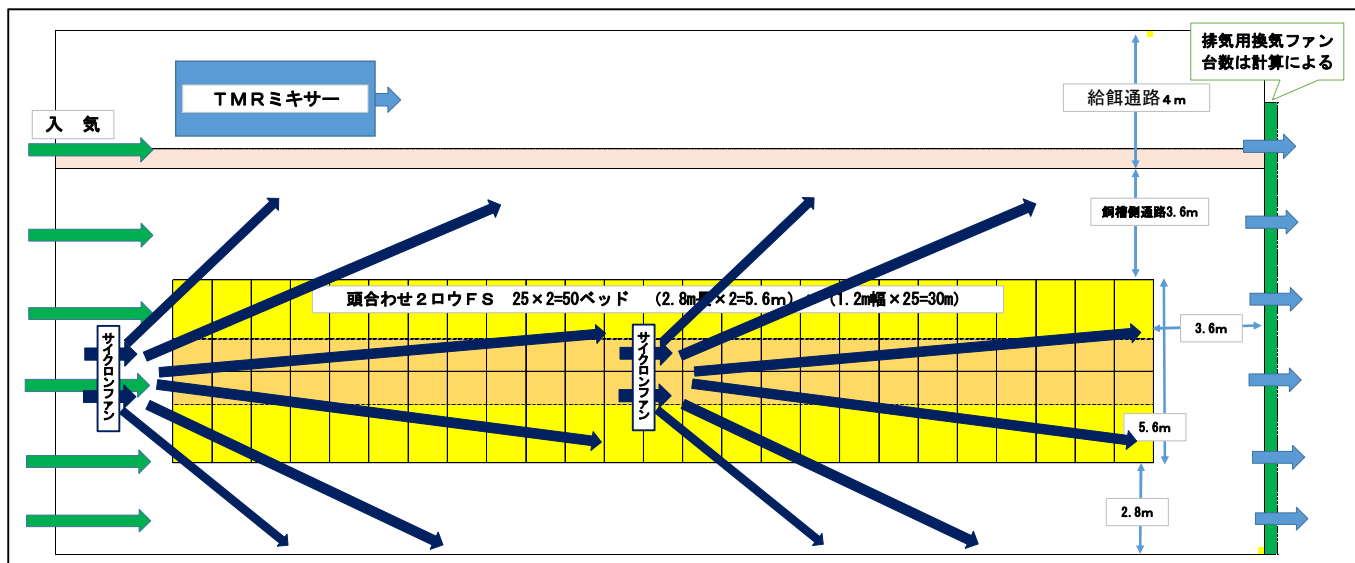


図7 ハイブリッド型トンネル“送風”システムのレイアウト（イメージ）

#### トピックス：サイクロン型大型ファン（整流板付き）

最近、注目されている送風ファンに「サイクロン型ファン」と呼ばれているものがあります。特殊な羽根の構造と前方に取り付けられた整流板により、風を扇状に幅広く遠くまで送ることができます。一般的な送風ファンは渦状に風を送り、最後は拡散する傾向がありますが、サイクロン型ファンは一定の範囲・高さに風を送ることができます。

72インチタイプ（羽根径 183 cm）（カタログ表記：幅 8~9m、長さ 17~18m の領域をカバーする）が現場ではよく見られますが、50~55インチタイプ（羽根径 127~140 cm）のものもあるようです。

ハイブリッド型トンネル送風システムでの牛床ゾーンへの送風への利用や、通常の送風ファンとしての活用が想定されます。

（複数の会社から同様のファンが販売されています。詳細は各メーカーに必ず確認してください。）



写真4 サイクロン型送風ファンの設置事例（岡山県）

## まとめ

私たちの地域では、夏をどう乗り切るかで酪農経営の成績は大きく変わってきます。最後にもう一度ポイントを図 8 にまとめました。是非ご覧ください。

「夏を制する者は酪農を制す！」暑くなる前に考え、実践し、備える。乳牛にとって暑熱ストレスを受け始める春はもう間近です。「いつやるか？それはいまでしよう！」

## 暑熱対策のまとめ

- ①余分な**熱を牛舎に入れない**ことが前提です。  
(屋根・壁の輻射熱対策、日光遮蔽対策)
- ②暑熱対策の**基本は送風と換気**です。  
(少なくとも2m/秒以上)→できれば**3m/秒!**
- ③細霧冷房、牛体散水は**“乾かす”**ことが条件です。  
(条件を満たさないと逆効果の場合もあり)
- ④新鮮な「空気」と**「水」**を与え、飼料給与にも一工夫を
- ⑤牛舎の構造によって**方法と組み合わせ**は異なります。
- ⑥**費用対効果**の判定が必要です。

図8 暑熱対策のまとめ

執筆：県立農林水産技術総合センター 企画調整・経営支援部 永井秀樹

# 淡路家畜市場情報

平成31年1月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	16	261,225	308,880	151,200			54
前回	13	268,588		320,760	185,760			56	-7,363	-2.7%	
前年	8	207,090		266,760	122,040			56	54,135	26.1%	
オス	今回	19	338,211	401,760	104,760			52			
	前回	20	305,964	401,760	34,560			55	32,247	10.5%	
	前年	20	296,244	389,880	18,360			54	41,967	14.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回	2	17,280		21,600	12,960			48	-17,280	-100.0%	
前年											
オス	今回	18	65,220	108,000	7,560			50			
	前回	24	43,875	72,360	1,080			51	21,345	48.6%	
	前年	13	76,680	96,120	25,920			50	-11,460	-14.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は平成30年12月25日・前は平成30年1月9日

平成31年1月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	14	212,529	279,720	1,080			56
前回	16	261,225		308,880	151,200			54	-48,696	-18.6%	
前年	17	208,059		238,680	99,360			55	4,470	2.1%	
オス	今回	16	307,395	369,360	246,240			55			
	前回	19	338,211	401,760	104,760			52	-30,816	-9.1%	
	前年	15	237,096	311,040	132,840			55	70,299	29.7%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	1	29,160	29,160	29,160			52
前回											
前年											
オス	今回	23	59,024	101,520	1,080			50			
	前回	18	65,220	108,000	7,560			50	-6,196	-9.5%	
	前年	18	80,640	105,840	2,160			53	-21,616	-26.8%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は平成31年1月9日・前は平成30年1月25日

# 隣県家畜市場情報

## 乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
27年次	64,443	1,030	65,296	2,004	77,520	400	75,102	121,664	
28年次	96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177	
29年次	92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536	
29	1	78,093	104	92,327	199	74,455	33	84,190	9,183
	2	85,097	97	92,766	123	64,548	30	98,315	8,483
	3	91,912	77	95,857	172	66,350	23	110,799	9,400
	4	101,196	70	112,040	143	100,552	29	116,828	8,803
	5	104,079	84	130,527	113	109,550	23	121,329	8,616
	6	108,921	34	135,761	115	136,234	14	137,632	8,181
	7	120,508	55	124,506	134	104,040	15	118,899	8,817
	8	107,178	67	107,911	158	115,020	18	97,028	10,455
	9	84,925	82	90,397	144	60,619	31	92,868	9,800
	10	86,820	108	92,828	165	78,259	26	105,133	10,135
	11	88,800	90	86,446	188	88,221	35	118,793	9,574
	12	85,919	119	90,025	132	65,010	36	120,568	9,089
30	1	86,606	110	107,563	99	62,640	18	124,526	9,214
	2	98,131	87	102,261	118	85,888	19	137,691	8,068
	3	117,531	80	123,281	141	98,451	19	158,390	8,423
	4	126,865	62	146,520	105	121,440	27	161,422	8,179
	5	146,442	74	159,470	105	167,091	14	156,889	8,845
	6	131,252	34	168,090	72	137,880	12	151,137	8,011
	7	151,004	66	158,593	110	182,520	11	136,450	9,205
	8	134,983	65	137,809	163	131,854	23	117,344	9,423
	9	121,656	76	120,268	156	92,417	14	118,081	9,056
	10	111,122	101	120,324	168	75,731	33	127,446	9,999
	11	101,422	88	125,346	197	115,210	37	127,553	8,904
	12	93,518	88	98,413	114	74,236	38	115,932	8,261

## 交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
27年次	192,996	3,604	190,382	5,143	246,738	3,004	197,323	166,751	
28年次	257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606	
29年次	266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761	
29	1	253,129	394	260,011	442	317,228	325	258,295	14,423
	2	276,805	289	263,012	402	300,487	293	269,209	12,744
	3	271,717	302	263,300	482	298,601	251	277,565	13,566
	4	292,111	262	283,986	398	344,232	270	298,087	12,594
	5	306,824	291	305,832	327	338,071	239	297,879	13,124
	6	325,804	200	320,555	415	357,072	180	296,850	11,689
	7	301,414	207	296,951	349	362,240	162	282,085	11,588
	8	292,081	283	283,966	528	339,607	173	248,789	13,226
	9	254,365	260	254,589	393	279,054	240	230,024	12,678
	10	230,264	295	209,166	391	271,433	205	222,022	14,025
	11	217,210	266	201,102	487	268,621	242	227,183	13,614
	12	221,570	375	213,329	452	275,218	268	224,106	13,490
30	1	224,052	410	214,641	317	283,535	244	220,702	13,957
	2	226,646	380	215,661	401	279,711	244	228,402	12,269
	3	245,195	347	227,786	515	269,499	237	247,634	13,155
	4	263,669	284	260,348	364	315,485	199	271,257	12,147
	5	291,953	275	282,132	330	320,427	175	278,094	12,768
	6	312,657	187	310,953	296	361,873	311	291,022	10,865
	7	296,223	246	315,086	292	362,384	111	283,769	11,795
	8	287,276	253	283,302	461	316,868	154	254,701	12,525
	9	273,584	286	275,638	377	294,961	161	251,290	12,152
	10	267,927	336	271,927	352	292,655	175	251,406	13,598
	11	273,716	302	276,629	458	291,466	193	260,225	12,929
	12	274,699	336	275,416	397	297,295	216	265,315	12,740

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

# 北海道産牛価格情勢

(平成31年2月版)

## ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

31年1月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
			前年1月	差額	比率
ホクレン北海道市場	11日	832,000円	854,000円	-22,000	97.4%
ホクレン豊富市場	18日	912,000円	887,000円	25,000	102.8%
ホクレン根室市場	21日	938,000円	884,000円	54,000	106.1%
ホクレン釧路市場	22日	909,000円	847,000円	62,000	107.3%
ホクレン北見市場	23日	928,000円	885,000円	43,000	104.9%
ホクレン十勝市場	24日	997,000円	912,000円	85,000	109.3%
平均		945,000円	892,000円	53,000	105.9%

## 2月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン十勝市場	5日	997,000円	986,000円
ホクレン釧路市場	6日	909,000円	1,002,000円
ホクレン根室市場	7日	938,000円	911,000円
ホクレン北海道市場	8日	832,000円	911,000円
ホクレン豊富市場	14日	912,000円	906,000円
ホクレン北見市場	20日	928,000円	1,040,000円
ホクレン十勝市場	21日	997,000円	1,067,000円
ホクレン根室市場	28日	938,000円	1,075,000円
平均		945,000円	1,009,000円

## 3月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン十勝市場	6日	986,000円
ホクレン北海道市場	8日	911,000円
ホクレン豊富市場	15日	906,000円
ホクレン北見市場	18日	1,040,000円
ホクレン釧路市場	20日	1,002,000円
ホクレン根室市場	21日	1,075,000円
ホクレン十勝市場	22日	1,067,000円
平均		1,009,000円

兵庫県酪農協 指導購買課

# 北海道乳牛産地情報

(平成31年2月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	40~50	やや弱含み	札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で96.3%、累計で100.1%、苫小牧管内月計で95.1%、累計で98.1%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4~5月分娩予定中心で動くものと思われま。1月の同地域の乳牛市場はやや強含みの相場展開となりました。今後春産みを求める動きが、さらに活発化する事が予想され、庭先購買で選ぶ中クラス以上の初妊牛もやや強含みの動きとなると予測されます。出回り頭数は他の地域と比べますと少ないですが、優良な成績付きのものも出てくる地域ですので、ご希望がございましたらお問い合わせをお願いします。
	初妊牛	82~92	やや強含み	
	経産牛	47~52	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	52~62	やや強含み	根釧管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で98.8%、累計で100.0%、中標津管内月計で99.2%、累計で100.0%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、5月分娩が中心となります。1月の管内乳牛市場では春産みとなり、道内外のメガ・ギガファームの導入意欲も高く、また地元の規模拡大農家等の導入も重なり強含みの相場となりました。2月の庭先購買もやや強含みでの動きになると予想されます。育成牛につきましては、春産みとなる月齢の上場頭数も増え、初妊牛価格も堅調に推移していることから、やや強含みで推移するものと思われま。資源状況につきましては、例年通りの頭数は確保出来る状況となっておりますが、F1腹が少なく、雌雄選別腹が増えている状況となっております。
	初妊牛	90~100	強含み	
	経産牛	60~70	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	45~55	横這い	帯広管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で101.9%、累計で103.3%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4~5月分娩予定中心で動くものと思われま。1月の道内各地域の乳牛市場での初妊牛価格が堅調に推移したことから、2月のこの地域の庭先購買も強含みで動くものと思われま。資源としては、F1腹・雌雄選別腹の出回り頭数は多く、十分に確保できるものと思われま。和牛授精卵移植腹は、牛なり、授精卵のランクともに上クラスのものとなると、120万円以上の価格となります。また、初妊牛価格が上がると、連動して経産牛の需要も高くなることから、経産牛価格もやや強含みの相場展開になるものと思われま。
	初妊牛	95~105	強含み	
	経産牛	55~65	やや強含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	45~55	横這い	道北管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で96.6%、累計で98.7%、北見管内では月計で101.1%、累計で101.8%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4~5月分娩予定中心で動くものと思われま。1月の当地域の乳牛市場が強含みで推移したことに加え、今後道内外において、春分娩の需要が更に高まることから、2月の庭先購買における初妊牛価格は、やや強含みで推移するものと思われま。 資源については頭数はいるものの、F1腹が雌雄選別と比較すると少ない状況ですが、逆に需要はF1腹の方が高いため、価格がより高くなると思われま。
	初妊牛	85~95	強含み	
	経産牛	50~58	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	47~57	横這い	道内の1月中旬までの生乳生産量前年比は99.6%、累計で101.0%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、需要の高い春分娩中心になることや、1月乳牛市場相場も強含みで推移していることから、強含みでの推移と予想されます。メガ・ギガファームの安定した導入意欲に加え、来年度の乳価引き上げの決定に伴い、道内酪農家の生産意欲も高まる事が予想され、引き続き初妊牛価格は堅調に推移するものと思われま。今後の資源動向に注視し、庭先選畜購買を中心とした安定した搾乳素牛を供給して参りますので、導入希望・計画がございましたらお早めのご注文を宜しくお願い致します。
	初妊牛	90~100	強含み	
	経産牛	55~65	横這い	

\*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。  
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。  
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》

釧路事務所 ☎(0154)52-1232  
帯広事務所 ☎(0155)37-6051  
道北事務所 ☎(01654)2-2368

## 輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所  
酪農生産研究会

### 北米コンテナ船情勢

2020年から温室効果ガス削減のための燃料規制(低硫黄物燃料油への移行)に向け、複数の船会社が新たなチャージの導入を表明しています。現時点では、すべての船会社で通知を出しているわけではなく、他船社の動向を窺っているところもあります。一方で、燃料規制によるコスト増に対し、各船社が既存の構造の中で対応できることは限られているものと見られ、新たなチャージという形で荷主へ転嫁する動きは避けられないものと思われます。

今年の4月末から5月上旬にかけて、大型連休が予定されていますが、この期間中の各コンテナヤードの稼働日について詳細はまだわかりません。従来、日曜・祝日は閉鎖されるため、連休期間中に入船予定の本船はコンテナヤードの滞貨状況によっては荷役ができず抜港される可能性も懸念されます。また、連休明けの植物検疫についても未植検貨物の滞留により、通常よりも検査までに時間を要することも予想されます。

### ビートパルプ

【米国】

日本向け生産地のミネソタ州及びノースダコタ州の気温は極めて低く、原料大根の保管コンディションは良好で、製糖・ビートパルプ生産も順調に行われています。ただ、引き続き気温上昇をもたらすエルニーニョ現象が懸念されており、原料の保管環境を左右する今後の天候は注視していく必要があります。

今期のビートパルプの生産予想は、収穫が開始された直後に比べ、収穫終了時点では13-14%減の下方修正となり大幅な減産となりました。要因として、生育期の高温乾燥、収穫期の不安定な天候、さらには想定以上に早く到来した寒波の影響により単収が減少したことが挙げられます。

新穀の作付けは例年通りであれば、アイダホ州など早い地域で3月末、日本向け主力地域であるミネソタ州及びノースダコタ州では4月からスタートする見込みです。順調に進めば5月中旬には全米各地で作付けが終了することになります。今のところ、新穀の作付面積に大きな増減はなさそうです。

## アルファルファ

### ワシントン州

低級品から上級品まで、全てのグレードの産地在庫はほぼ成約済となっており、余剰在庫は極めて限定的となっています。輸出向け需要は引き続き堅調で、産地在庫は逼迫しているため相場は高値で張り付いている状況です。特に低級品は昨秋以降、一段と価格が上昇しています。堅調な需要はあるものの、高値で形成された相場が浸透してきたため、産地での取引そのものはあまり活発ではなく、さらなる価格上昇を避けるべく慎重に行われているようです。

19年産の作付面積は18年産並みと予想されていますが、産地在庫が逼迫していることから、19年産の相場は弱含む要素は見当たらない状況と言えます。

### オレゴン州

オレゴン州の主産地では、価格上昇を狙って在庫を抱えていた一部の生産農家の在庫が少しずつ販売されていますが、これまでと同様に輸出向けとしては高値であり、主として米国内需要向けに販売されると考えられます。19年産の作付面積は概ね18年産と同様と推測されています。

### カリフォルニア州

1月15日付けのインペリアルバレーの作付面積は140,726エーカーと、過去10年間で2番目に多くなっています。背景には旺盛な中東からの需要があると見られます。加えて、近年アーモンド・ナッツ類に作付を奪われている中部カリフォルニア産の代替として国内酪農家からの需要が一部移行している影響もあると考えられます。今後の作付面積の動向は生産農家にとってのアルファルファの収益性に依存してくると思われれます。

米国政府機関の閉鎖の関係から、最新の輸出統計は取れていませんが、各サプライヤーからの情報を集約すると、日本及び韓国向けは安定しているものの、関税問題を抱える中国向けは依然低調に推移しており、サウジアラビアやUAEなどの中東向けの輸出が増加しているようです。

19年産においても昨年と同様、スタートと同時に中東勢の積極的な買付けによる相場の上昇が懸念されています。さらに、中国の需要も関税問題の進捗次第では大きく回復することも考えられ、米国内需要とともに新穀相場に大きく影響する要因となりそうです。

## 米国産チモシー

2018年1～12月の米国産チモシーの輸入数量は297,968トンで前年比

89%となっています。US産チモシーは前年同様、高値が続いており日本国内の需要に影響していると思われます。

産地在庫は、18年産のUS産チモシーはグレードを問わずほぼ成約済となっており余剰は一部の2番刈と限られています。産地相場については、日本および韓国からの引き合いは引き続き堅調であることから、相場は弱含む要素に乏しく、新穀までは現状のまま高値で推移すると予想されます。19年産の作付面積は昨年に比べやや増加するものと見られています。

## カナダ産チモシー

2018年1～12月のカナダ産チモシーの輸入数量は116,811トンで、前年比では115%と2年連続で輸入量は10万トンを超えましたが、US産チモシーと合わせた輸入チモシー全体の2018年の輸入数量は前年比95%と前年を下回っています。

18年産のスタート以降、日本および韓国からの引き合いも強いことから産地在庫は一部の低級品を除いてほぼ成約済となっています。産地相場については、旱魃の影響でカナダ国内の自給粗飼料も不足していることからチモシーへの需要が高まっており、大幅に上昇したまま現在も高値で推移しています。

		JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
カナチモ CA	2017年	7,054	5,712	10,297	6,821	9,590	7,298	6,427	7,603	10,194	9,428	10,797	10,075	101,296
	2018年	9,814	9,411	11,787	11,857	12,262	9,535	9,993	8,767	6,483	8,136	10,281	8,485	116,811
USチモ US	2017年	29,139	23,390	27,171	32,139	33,298	26,761	27,309	29,372	26,827	29,398	25,759	22,791	333,354
	2018年	18,201	19,353	23,523	29,560	29,810	23,427	25,336	24,207	22,001	31,113	28,390	23,047	297,968
チモシー計	2017年	36,193	29,102	37,468	38,960	42,888	34,059	33,736	36,975	37,021	38,826	36,556	32,866	434,650
	2018年	28,015	28,764	35,310	41,417	42,072	32,962	35,329	32,974	28,484	39,249	38,671	31,532	414,779

チモシー輸入数量推移（2018年1月～12月）単位：トン

## スーダングラス

2018年1～12月のスーダングラスの輸入数量は269,413トンで前年比101%となっています。

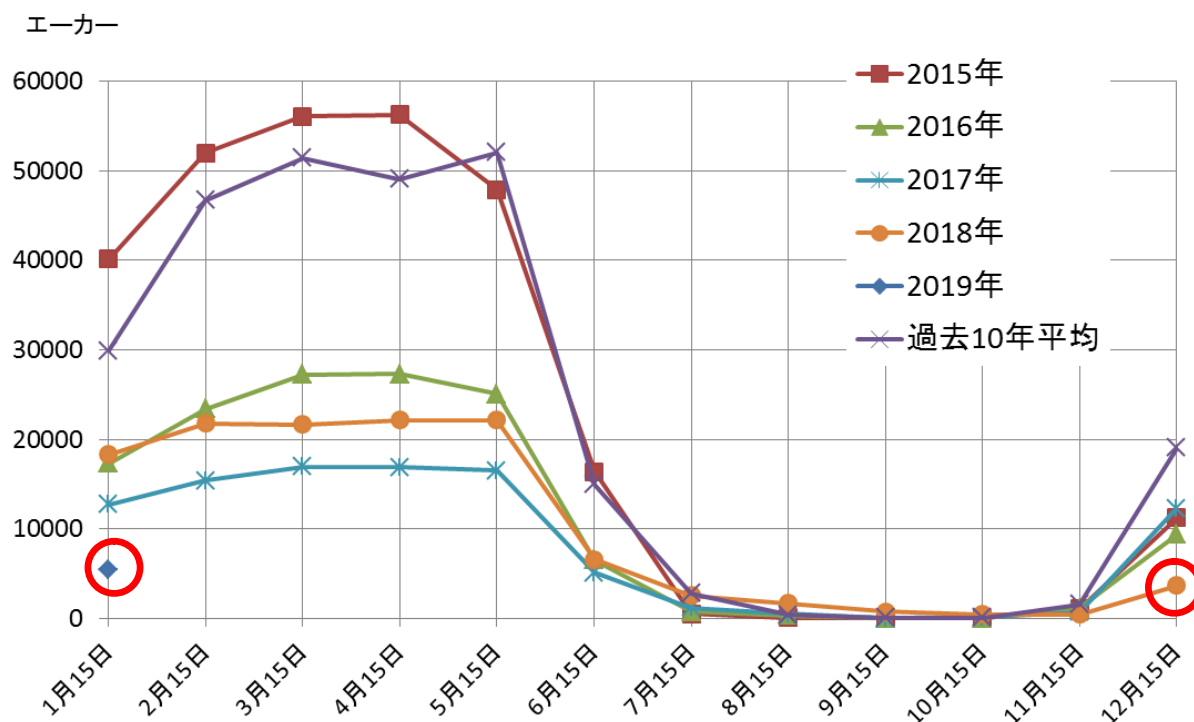
		JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
スーダン SUDAN	2017年	18,595	17,923	26,380	20,641	25,255	23,856	19,791	23,398	20,146	20,887	22,529	22,375	261,776
	2018年	21,696	23,157	23,064	22,922	24,826	22,144	21,686	22,891	15,012	24,868	23,476	23,671	269,413

スーダン輸入数量推移（2018年1月～12月）単位：トン

既報の通り、産地在庫は茎細の上級品についてはすべて成約済となっており、中～低級品でわずかに在庫が残っている状況です。豪州産オーツハイの生産量減少と価格

の高騰を受け、安価なイネ科牧草としてスーダングラスの中～低級品への需要が一時的に高まりましたが、現在はそれも一服しているようです。

3月から始まる早播きスーダンの作付けに影響を及ぼすデュラム小麦の作付面積は、1月15日付で前年同期比30%と相場の低迷を受けて大きく減少しています。近年、日本向けスーダンは堅調な需要を見せていることから、小麦に代わる換金作物として新穀の作付面積は昨年並～やや増加するものと予想されています。



	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	17988	24292	25781	25368	24731	5505	1008	194	147	92	2033	26647
2015年	40158	51951	56068	56252	47848	16399	529	132	86	53	1075	11284
2016年	17328	23379	27258	27308	25107	6565	802	373	45	45	1155	9407
2017年	12733	15443	16988	16913	16532	5102	1218	554	59	202	712	12323
2018年	18311	21818	21673	22181	22172	6639	2565	1714	799	478	461	3683
2019年	5477											
過去10年平均	29940	46693	51406	49055	52042	14966	2868	424	122	127	1617	19083

インペリアルバレー 小麦作付面積推移（2019年1月15日時点）

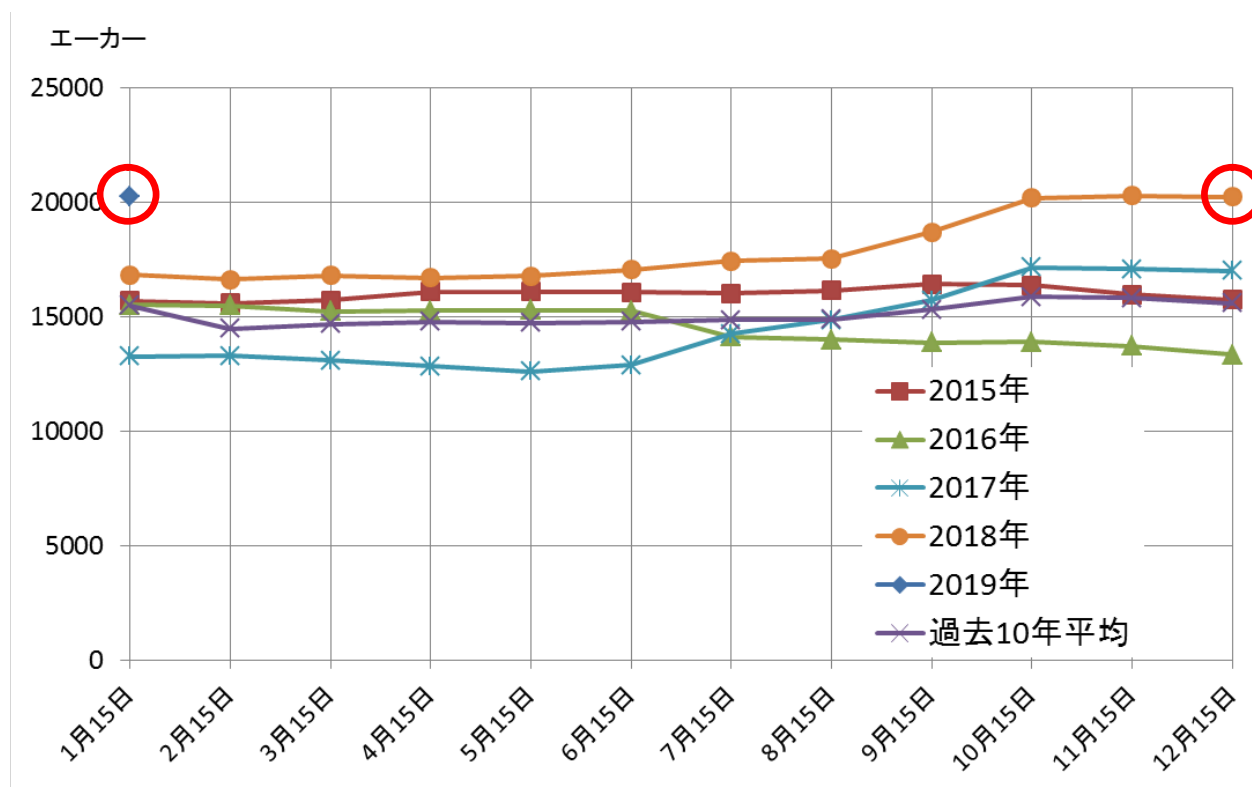
## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

2018年1～12月のクレイングラスの輸入数量は72,164トン、前年比99%となっており、2年連続で輸入数量は7万トン台となりました。

1月15日付の作付面積は前年同月比120%となっています。好調な産地相場を背景に、クレイングラスの作付面積は昨年同期比で大きく増加しており、19年産はさらに生産量が増加することが期待されます。

産地相場は、日本および韓国からの需要は昨秋以降旺盛な状態が続いているため堅調に推移しています。産地在庫もほぼ成約済で、需要サイドは新穀待ちとなっている

ため、生産量の増加が見込まれながらも新穀は昨年に比べ高値でスタートする可能性があります。韓国勢が新穀とともに一斉に買付に入ることによって産地相場を高値に引き上げることが最も懸念されている点です。



	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	17192	17192	17140	17005	16930	17038	16578	16873	16745	16659	16413	15786
2015年	15691	15605	15724	16111	16111	16086	16026	16152	16430	16372	15974	15746
2016年	15526	15501	15234	15255	15295	15262	14142	14002	13871	13896	13739	13354
2017年	13276	13296	13092	12846	12614	12901	14255	14875	15722	17159	17088	16999
2018年	16832	16628	16796	16695	16794	17071	17429	17531	18705	20193	20289	20253
2019年	20253											
過去10年平均	15504	14497	14694	14789	14726	14800	14852	14901	15322	15866	15817	15592

インペリアルバレー クレイングラス作付面積（2019年1月15日時点）単位：エーカー

## ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

自給粗飼料が不足している韓国および中国産稲わらの供給懸念が続いている日本からの堅調な需要が続いています。

主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、18年産の収穫直後から、生産農家が相場上昇を期待して在庫を抱えていましたが、各サプライヤーの慎重な原料草の買付によって、年明け以降、徐々に抱えていた在庫の放出し始めているようです。このため、上昇を続けていた産地相場もここに来てやや落ち着きを見せ始めています。

## 豪州産オーツハイ

2018年産の豪州産オーツハイ、ストロー類の生産は終了しています。

西豪州産は既報の通り、収穫時の天候が安定しなかったことから生産量の7割ほどが降雨被害を受けており、中～低級品の発生が中心となっています。シーズン当初は早魃の影響で自給粗飼料が不足していた東豪州からも引き合いが来ている状況でしたが、1月以降、深刻な早魃に見舞われた地域でも降雨があり、自給粗飼料の利用が再開されたことから、豪州国内からの引き合いは徐々に落ち着き始めています。

産地在庫については、相場高騰のため各サプライヤーは慎重に買付を進めたことから、サプライヤー側の在庫はほぼ成約済となっています。一方、一部生産農家では在庫を抱え、相場動向を見極めようとする動きもあり、今後も若干ながら追加買付ができる余力はあると見られています。

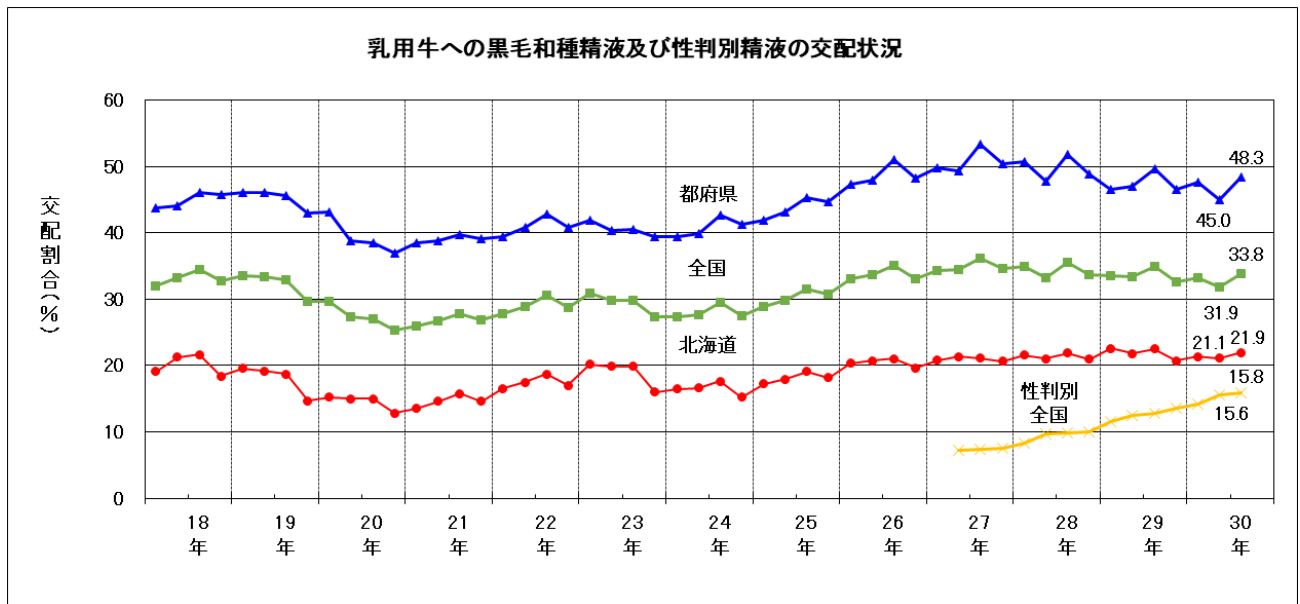
東豪州および南豪州は早魃の影響で例年よりも収量が少なく、豪州国内からの引き合いも強かったことから全体的に輸出向けの数量は例年よりも限られる状況です。各サプライヤーの在庫は不足しており、生産農家側の余剰在庫もほぼないものと見られており、今後の追加買付については難しい状況です。

日本、韓国、中国および台湾からの需要は堅調に推移しており、十分な原料草を確保できているサプライヤーではフル生産が続いています。各国からの需要が堅調なこと、豪州側の供給力が例年よりも乏しいことから産地相場は高騰したまま堅調に推移しています。

以 上

乳用牛への黒毛和種の交配状況について

平成30年第3四半期（平成30年7～9月期）の黒毛和種の交配割合は、全国において33.8%（前期比1.9%増、前年同期比1.1%減）、北海道において21.9%（前期比0.8%増、前年同期比0.6%減）となっています。また、性判別精液の割合は、全国において15.8%（前期比0.2%増、前年同期比3.0%増）となっています。



- ※ 乳用牛への黒毛和種の交配状況が生乳生産に影響を与え始めるのは、妊娠期間及び育成期間を経た3年後となります。
- ※ 今四半期の数値は速報値です。次回公表時に確報値をお示しします。

# 牛舎環境改善で『もう一口』喰わそう！

～ひと手間加えて生産乳量アップ～

## もう一回、もう一口を合言葉

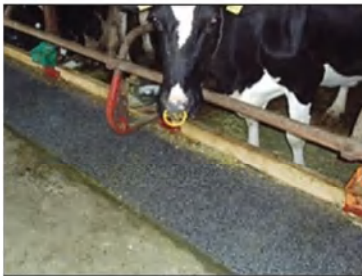
### ○給餌回数を増やして『もう一口』！

粗飼料、配合飼料を少量多回給与で採食量アップ

### ○餌の掃き寄せ回数を増やして『もう一口』！

いつもの作業にプラスαでもう一回！（掃き寄せは一日6回以上！）

きれいな餌槽



給餌前には必ず餌槽の掃除！  
竹ぼうき、スクレーパー等で  
細かな残餌もきれいに取り除き  
ましょう。

きれいな水



水槽、ウォーターカップはこまめ  
な掃除を心がけ、いつでも新鮮な  
水がのめるように！

きれいな空気



冬場は牛舎を閉め切りがちです。  
インバーターを活用し、冬場でも  
ゆっくり換気扇を回し、空気の  
よどみを無くしましょう！

牛舎は、おうちで言うとLDK、寝室、ト  
イレが一つになったようなもの。牛だっ  
てきれいな環境が良いに決まってる！  
『汚い』、『臭い』と食欲でないよ～！！



生産指導部 指導購買課

# 「酪農共済」

酪農家の元氣と  
安心をお守りする



一般社団法人 全国酪農協会



●お問い合わせ・  
お申し込みは **当協会へ**